

記
録

全國國公立幼稚園長協議會請願

全國國公立幼稚園長協會第一回協議會（昨年十一月十九日京都市にて開催）の協議に基く左の請願を、同會會長岡田しげの（大阪市桃園幼稚園長）、同副會長柳沢靜子（京都市明倫幼稚園長）同常務理事山崎ときの（神戸市楠幼稚園長）同南出信一（滋賀県守山町幼稚園長）同東崎キヨ（大阪市菅南幼稚園長）同淺野井美（名古屋市第三幼稚園長）の六氏上京、一月二十五日文部省及びそれへの向に提出せられた。

幼稚園の設立を義務制にせられたい

我が国戦後の教育改革はめざましく、六三制の確立及び実施により、小学校より大学に至るまで教育復興の曙光がきざしつゝあります。しかるにこゝに取残されているものは幼稚園であると申さねばなりません。個人の心身の発達を考へるときその幼少の時期が極めて重要視されることは、幾多の研究が明かに示しているところであります。実に学校教育の基盤となるものは、幼稚園教育であることを思うとき、一日も等閑に附すべきではないと存じます。

しかるに現在幼稚園の数は、国立私立を合せて、小学校数

の僅かに十二分の一にすぎず、しかもその施設は極めて貧弱なため入園志願者は定員をはるかに超えて、到底その要求に応じられないのみか、中には受験地獄をさえ描き出しているところもあるのは、教育上、社会政策上軽視出来ない問題といわなければなりません。

ついでには御当局の明断により、速かに一小学校下に一園以上の幼稚園を設立することを義務制とせられ、以て教育の機会均等化が一日も早く実現するよう。全国々立幼稚園長会の議決に基き請願致す次第であります。

市町村立幼稚園教員給の財源の確立
について

日本の新しい教育制度に於ては、幼稚園を正式に学校教育体系の中に編入し、更に教職員免許法に於ては、幼稚園教諭の資格を小中学教諭と同等におかれることになりました。これは幼児教育が如何に重要であるかということ、立証するものでありまして、法制的に見ても近く義務制が布かれようとする気運さえうかがわれるのであります。

然るに現状に於ては、公立幼稚園教諭の待遇は、小中学教諭のそれに比して遜色があり、且つ地方的地域的に不同を生じています。特に幼稚園教諭の教員給は平衡交付金の対象としてこの明確なる法律的措施がとられていませんので、幼稚園教諭の給料は実に不安定、不均衡であります。

たま／＼第二次アメリカ教育使節団の報告書に於いても幼

稚園の設置を強調していますし、C I E 教育部初等教育官
エドワード・アンブローズ女史は「幼稚園の教員給について
は勿論小学校と同様に取扱うべきである」と述べられています。

当局に於いても現行制度幼稚園費について地方財政平衡交
付金法単位費用の中に明確に計上され、教職員の身分保証と
生活の安定とによつて教育効果の万全が期せられますよう格
別の御配意を賜りたく、茲に全国々立幼稚園長会の議決に基
き請願する次第であります。

教員養成の國立大學に幼稚園教諭養成

のコースを設けられたい

近時幼児教育の重要性が漸く世に認識せられ幼稚園の数も
漸次増加の傾向にありますことは誠に喜ばしいことでありま
す。幼稚園教育の進展は優秀な教育に俟つところ極めて大で
あることは今更申し上げるまでもないことと存じます。

然るに今日の幼稚園教諭の養成機関は極めて貧弱でありま
して世の需要に應ずることは到底不可能な実情にあります。
このまゝ推移するならば愈々有資格者の不足に悩む幼稚園の
危機を招来することは必至であります。就いては当局におか
れましても新しい教員養成の体制が都道府県単位とされてい
る原則に鑑み、国立教員養成大學に幼稚園教諭の養成コース
(教科課程)を速やかに設置せられますよう、こゝに全国々
立幼稚園長会の議決に基き請願します。

國立幼稚園師範學校附屬幼稚園の整備 充實をはかること

「國立幼稚園(師範學校附屬幼稚園)の
整備充實を圖られたい」

幼稚園教員の需要の充足と幼稚園の設置の普及が急務であ
る我國の現状におきましては、幼稚園教育の振興は国立幼稚
園の整備充実に負うところが甚だ大であります。又第二次ア
メリカ教育使節団の報告書に於ては「幼稚園は附屬小学校と
結びつけて維持し子供の観察と幼稚園教師養成のための学生
の参与および学生実習のために使用すべきである」と明示さ
れて附屬幼稚園の重要性が強調されています。

然るに師範學校が附屬幼稚園を持たないものも相当数に及
び、又現在設置されているものも殆んど規模が著しく貧弱
で、現在の学級数及び教員定数では到底その使命を果し得な
い状態であります。

就きましては当局におかれ、上述の現状を御推察の上、国
立幼稚園の整備充実につき格別の御配慮を賜わり幼稚園教員
の養成に、或いは地方幼稚園教育の研究と指導に、その使命
を達成出来まますよう茲に全国々立幼稚園長会の議決に基き、
請願する次第であります。